



「共に生きる社会の実現のために決意したこと」

代表 大堀尚美

先の7月26日に神奈川県で起きた障害者に対する凶悪な犯行に、信じられない思いと悲嘆の思いで胸が一杯です。亡くなられた方々に対し、謹んでお悔やみを申し上げますと共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。また現在治療を受けている皆さま、入所されている皆さま、ご家族、関係者の皆さまにも心よりお見舞い申し上げます。障がい者の命を奪い、尊厳を傷つけ、私たちの尊厳をも傷つけた容疑者に対し強い憤りを禁じえません。「自己と他者の命と尊厳が大切にされること」こそ私たちの願いであります。

私たちが求めている社会は、自身の身勝手な思想や価値観で他者を排斥する未成熟な文化・社会ではなく、「自己と他者の生命・尊厳・多様性が尊重され、共に生きる社会」です。それは障がいのあるないに関係はありません。

今、心痛めている私たち自身と、私たちを応援・支援してくれている家族、多くの皆さんのためにも、「今こそ人と支え合うこと、ピアサポートの活動を大切に進めていこう」と強く思います。その実現の為の決意をここに表明します。

平成28年度総会・交流会が開催される

平成28年4月23日（土）、松本市中央公民館Mウィングにて、長野県ピアサポートネットワークの総会・交流会が開催されました。

総会では大堀尚美代表のあいさつに続き、ご来賓の方々ー長野県健康福祉部衛生技監兼保健・疾病対策課課長の小松仁様をはじめ、松本市健康福祉部障害福祉課課長 上條昭一様、長野県精神保健福祉センター所長 小泉典章様（メッセージ代読）、長野県精神科病院協会理事 渡辺啓一様、長野県精神保健福祉士協会会長 夏目宏明様、せいしれん会長 中村美恵子様、きょうされん長野支部長 降旗須真子様よりメッセージをいただきました。

「ピアであるからこそできるピア同士の支え合いの重要性が益々増してくる、ピアサポートネットワークにはそこを期待したい。ことに平成28年度は4月から障害者差別解消法が施行されたところでもあり、当事者の声の重要性となる」等、「ピアサポートの重要性」と「当会がその推進を担うことを期待している」というメッセージも頂きました。

次に、平成27年度の事業報告、収支報告、平成28年度の事業計画案、予算案、及び役員体制について提案がされ、皆様よりご承認いただきました。

【ピアサポート活動の推進】当事者同士ー同じ経験をしている仲間として、当事者同士がお互いに支えあう活動ーピアサポートを推進する。

【本年度の目標】ピアサポート（当事者同士の支え合い）活動を充実化させていきたい。ピアだからこそ出来ること、体験したからこそ分かり合えることを強みにして、支え合える関係性を拡充していく。ピアサポーターの力が活かされていくことで、周りの人の障がいへの理解が深まり、当事者・家族が地域でより安心して暮らしていけることを目指す。ピアサポートについて、学び、交流しながら、それぞれの自己実現を果たしていける為に当事者、家族、支援者、地域でのネットワークを拡充する。

(2ページに続く)



小松仁様



夏目宏明様

